



水

船

ん
の

しをすまさぬ向はこの建物は詰負者のお水
 の此のおんが。肺病患者の金を結つてこの
 家を建てた。引き渡さへすまさおけやお
 れのちのあんが。あ。國の法律といふや
 つふちやんとおいらのたのめをほかつてくれ
 てるのち。法律つていふやつはありあつた
 のち。
 たき 見さん、旦那さまをたつて可哀想にお
 ちいの。
 藤川 お上りたつておれとく、でか、つたのち
 やあいの。
 たき 旦那様はあなごつて金の器のつ
 たのち見さんのたのめ便宜をほつたけと、見ま
 せん。今日は何をすこし旦那さまの可哀想
 に思へ仕方がないのち。旦那さまは今日
 日はもう二度ル血を吐いたわ。もう
 お長いことおいと思おわ。
 藤川 死ぬにやうな死ぬ。それか
 のたのち。病の苦をのちのち子にけつて仕合せ
 といふちのち。

MARUZEN I

